

水道スマートメーターの利活用に関する中部電力(株)及び
中電テレメータリング(同)との協定締結について(報告)

半田市水道事業では、検針・開閉栓業務の効率化や漏水の早期発見などを目的として、水道スマートメーターを導入し、普及・促進に取り組んでいます。

このたび、中部電力株式会社及び中電テレメータリング合同会社と協定を締結し、取得したデータを活用することで、以下のとおり水道スマートメーターのさらなる活用に向けて取り組むとともに、独居高齢者の見守りに関する実証実験などを行います。

1. 協定締結日 令和8年8月20日(木)

2. 協定の内容

- 水道スマートメーター普及促進のための更なる導入検討に関すること。
- 水道検針業務の効率化及び自動検針技術の向上に関すること。
- 水道使用量データの利活用及びDX・デジタル化の推進に関すること。
- 水道使用量データを活用した独居高齢者の見守りサービスの検討及び実証に関すること。

3. 実証実験の内容

(1) 概要

水道スマートメーターを使用した独居高齢者見守りサービスの効果検証

(2) 実施方法

水道スマートメーターで1時間毎の水道使用状況を確認し、一定時間使用がないなど、あらかじめ設定した条件を満たした場合において、家族等へメールで通知し、生活状況の変化の早期発見・対応につなげます。

(3) 対象者

半田市在住の独居高齢者の内、見守りが必要な方(約20名)

(4) 実施期間

令和8年9月1日(火)から令和9年2月28日(日)まで